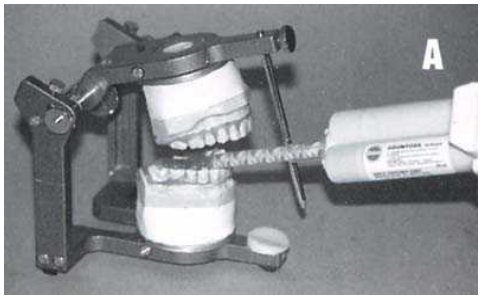
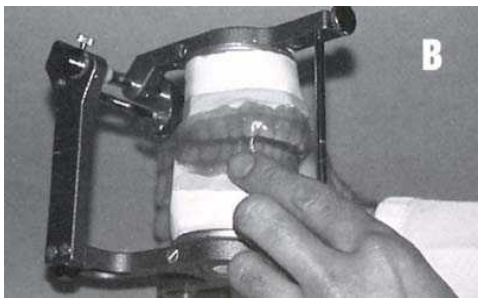
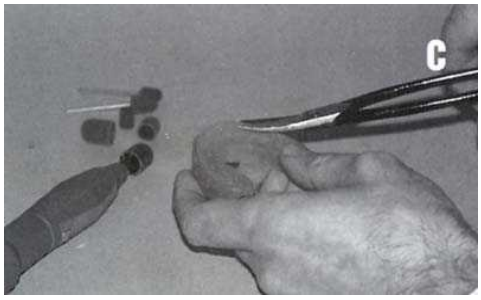
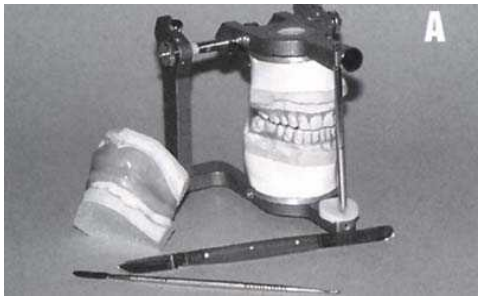
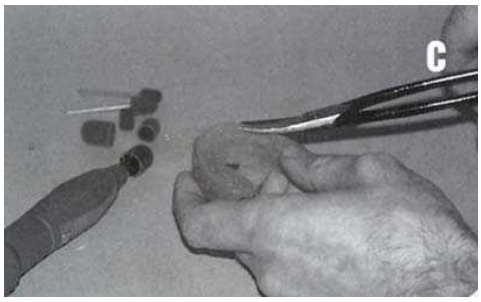
# オドントシル取扱説明書

## 1.直接法／DIRECT PRODUCTION

| | | 作業時間/分 |
|---|---|---|
|  | A. 形成したセットアップモデルを咬合器に装着し開口させる。インジェクターにミキシングカニューレを取り付け、模型上に直接オドントシルを盛りつける。 | 5-7 |
|  | B. 盛りつけが終わったならば、咬合器を予めセッティングした咬合高径まで閉じ、指を石鹸水で濡らしてオドントシルの表面を滑らかにする。次に室温で加硫（硬化）させる。加硫による気泡の発生を防ぐために、最低3気圧の加圧下で行うこと。 | |
|  | C. 約30分加硫させた跡、ポジショナーを模型から外し、辺縁を大まかにハサミでトリミングする。グラインディングキャップやウルトラトリムを使い、滑らかに仕上げる。 | 8-10 |
| | D. 最後に表面を均一にするため、オドントシルラッカーでコーティングする。オドントシルラッカーを塗布した後、約20分間室温で加硫すると更によい。オドントシルラッカーは、そのままでは粘度が高いので、オドントシルラッカー希釈液で使いやすい粘度に希釈して使用するとよい。 | 2-4 |
| | 全工程時間 | 15-21 |

## 2.間接法／INDIRECT PRODUCTION

| | | 作業時間/分 |
|---|---|---|
|  | A. 形成したセットアップモデルから複模型を作り、咬合器に装着する。複模型の上にポジショナーをワックスアップし、最終的な形に仕上げる。 | 20-25 |
| | B. ワックスアップしたポジショナーを模型ごと咬合器から外し、重合用フラスコに埋没する。埋没した石膏が硬化したら、フラスコを熱湯で加熱し分割してワックスを流蝋する。流蝋後、アルギン酸分離剤を塗布し乾燥させた後、インジェクターにミキシングカニューレを取り付け、オドントシルを填入する。 | 15-20 |
|  | C. フラスコを閉じ、フラスコクランプで固定する。気泡を発生させないために3気圧以上の圧力をかけて約30分間加硫することが望ましい。加硫が終了したら、フラスコから取り出し、直接法と同じ手順でトリミング/研磨する。 | 4-6 |
| | D. 最後に表面を均一にするため、オドントシルラッカーでコーティングする。オドントシルラッカーを塗布した後、約20分間室温で加硫すると更によい。オドントシルラッカーは、そのままでは粘度が高いので、オドントシルラッカー希釈液で使いやすい粘度に希釈して使用するとよい。 | 2-4 |
| | 全工程時間 | 41-55 |